



平成25年7月10日(水)晴れ

紀の川大堰(水ときらめき紀の川館)周辺で、向陽中学校1年生に来ていただき、出前講座を行いました。内容は、環境学及び理科での「水」をテーマとした学習において、紀の川の治水・利水や、干潟のカニ観察を体験し、生態系などの学習をしていただきました。

出前講座の様子

参加者85名(生徒80名,先生5名)で、紀の川大堰と紀の川の治水・利水についての説明を、当事務所の調査一課山崎専門官が行いました。紀の川大堰の話や、紀の川の話に真剣に耳を傾け、話が終わった後、たくさんの質問をいただきました。

自分達が慣れ親しんだ紀の川に、たくさんの役割があることを知ってもらいました。

紀の川大堰と紀の川の治水・利水について説明



質疑応答

Q1.川のきれいさのBODがどのくらいならきれいなのか？

A1.川のきれいさの目安として、アユが生息するのに適したBODの値は2~3mg/lとされています。

Q2.紀の川大堰は何番目に大きい堰ですか？

A2.日本でも大きい堰の一つです。

館内展示物、魚道見学



館内の展示物に熱心に見入る様子



階段式魚道を上から見ている様子

魚道観察室では、残念ながら魚の姿は確認することができませんでしたが、アユの遡上時期などには、リアルな遡上シーンを見ることができる施設がある事を知ってもらいました。

紀の川干潟のカニ観察



干潟でのカニの観察では、自分達が持参した軍手と長靴を着用し、グループに分かれ、様々な種類のカニを捕まえました。



そのカニの名前、特徴を表で確認し、カニの中でも珍しいシオマネキというカニを捕まえた生徒2名が、皆の前で、シオマネキを見せ紹介しました。終了後は、干潟にカニを返しました。